

参 考 資 料

	頁
1 平成20年度地域公共交通活性化・再生総合事業 執行状況	1
2 平成20年度「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク 実現会議」決算	2
3 平成21年度地域公共交通活性化・再生総合事業 一覧	3
4 平成21年度「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク 実現会議」予算	5
5 「改善実行計画」の変更に向けて（骨子たたき台） （京都市丹後地域公共交通ネットワーク改善実行計画の変更（提言）概要版）	7
6 平成21年度京都市府部局別運営目標（抜粋）	16
7 「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」 規約新旧対照表	23

参考資料2

平成20年度「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」決算

(歳入)

款 項 目	予算額 (千円)	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	不納欠損額 (千円)	収入未済額 (千円)	備 考 (千円)
1 分担金及び負担金	0	0	0	0	0	
1 分担金	0	0	0	0	0	
1 分担金	0	0	0	0	0	
2 行政支出金	49,827	49,827	49,827	0	0	
1 行政支出金	49,827	49,827	49,827	0	0	
1 国庫補助金	36,590	36,590	36,590	0	0	
2 京都市府補助金	13,237	13,237	13,237	0	0	
3 市町補助金	0	0	0	0	0	
3 繰越金	0	0	0	0	0	
1 繰越金	0	0	0	0	0	
1 繰越金	0	0	0	0	0	
4 諸収入	3	3	3	0	0	
1 雑入	3	3	3	0	0	
1 雑入	3	3	3	0	0	寄附受入
計	49,830	49,830	49,830	0	0	

(歳出)

款 項 目	予算額 (千円)	支出済額 (千円)	翌年度繰越額 (千円)	不用額 (千円)	説 明 (千円)
1 事業費	49,830	49,829	1	0	
1 計画調査費	8,000	8,000	0	0	
1 計画調査費	8,000	8,000	0	0	
2 改善事業費	41,830	41,829	1	0	
1 改善事業費	41,830	41,829	1	0	
2 予備費	0	0	0	0	
1 予備費	0	0	0	0	
1 予備費	0	0	0	0	
計	49,830	49,829	1	0	

平成21年度 活性化・再生総合事業 一覧

(単位:円)

区分	種目	事項	団体名	事業名	事業費	財源			備考	
						国庫	府	市町等		
KTRの活性化・利用促進事業	鉄道の活性化・再生にかかる事業	魅力ある車両創設事業(鉄道)	KTR	KTR創業20周年記念展望列車創設事業	20,000,000	10,000,000	5,000,000	5,000,000		
				KTR創業20周年記念サウンドトレイン列車創設事業	2,500,000	1,250,000	416,000	834,000		
				KTR創業20周年記念普通列車リニューアル	44,000,000	22,000,000	0	22,000,000		
		小計				66,500,000	33,250,000	5,416,000	27,834,000	
		企画列車運行	福知山市	KTR促進協	企画列車の運行(ハイキング)	152,500	76,250	38,000	38,250	
					企画列車の運行(キャラクターショー観覧)	700,000	350,000	175,000	175,000	
					企画列車の運行(京丹後市民号)	88,790	44,395	22,000	22,395	
					企画列車の運行(「Dの複合」探訪ツアー)	86,841	43,420	21,000	22,421	
		小計				1,028,131	514,065	256,000	258,066	
		駅活性化事業	KTR促進協	KTR	駅活性化事業(花いっぱい運動)	400,000	200,000	100,000	100,000	
	駅待合施設整備事業				6,900,000	3,450,000	1,150,000	2,300,000	丹海バスと共同実施予定	
	小計				7,300,000	3,650,000	1,250,000	2,400,000		
	鉄道の活性化・再生にかかる事業 計					74,828,131	37,414,065	6,922,000	30,492,066	
	公共交通利用促進に資する	パーク&レール事業	宮津市	京丹後市	パーク&レール事業	876,000	438,000	219,000	219,000	
						5,110,350	2,555,175	1,277,000	1,278,175	
4,000,000						2,000,000	0	2,000,000		
小計						9,986,350	4,993,175	1,496,000	3,497,175	
情報提供		京丹後市	情報提供(鉄道・バス総合)	3,427,200	1,713,600	856,000	857,600			
利用啓発事業(鉄道)		KTR促進協	利用啓発事業(鉄道)	1,100,000	550,000	275,000	275,000			
サービス向上に資する事業(鉄道)		京丹後市	KTR沿線への花の植栽	8,041,950	4,020,975	2,010,000	2,010,975			
公共交通利用促進に資する事業(KTR分) 計					22,555,500	11,277,750	4,837,000	6,640,750		
KTRの活性化・利用促進に資する事業 計 (再掲)					97,383,631	48,691,815	11,559,000	37,132,816		

(単位:円)

区分	種目	事項	団体名	事業名	事業費	財 源			備 考
						国庫	府	市町等	
バス等その他公共交通活性化	事業	情報提供	与謝野町	総合交通マップ作成	441,000	185,706	127,000	128,294	国庫査定後
		利用啓発	京丹後市	利用啓発事業(バス)	630,000	265,294	182,000	182,706	〃
		公共交通利用促進に資する事業(バス分) 計			1,071,000	451,000	309,000	311,000	
		公共交通利用促進に資する事業 計			23,626,500	11,728,750	4,946,000	6,951,750	
	バス・乗合タクシー等活性化・再生に係る事業	乗継改善事業	丹海バス	宮津駅前停留所待合施設整備	450,000	199,332	83,000	167,668	KTRと共同実施予定 国庫査定後
		実証運行	宮津市	実証運行事業(バス)	2,516,000	1,114,489	0	1,401,511	国庫査定後
			京丹後市	実証運行事業(バス)	7,309,000	3,237,601	0	4,071,399	〃
			与謝野町	実証運行事業(バス)	9,305,000	4,121,752	0	5,183,248	〃
		小計			19,130,000	8,473,842	0	10,656,158	
		魅力ある車両創造事業(バス)	京丹後市	魅力有る車両創設事業(バス)(ラッピング)	1,600,200	708,826	445,000	446,374	〃
				福祉面充実バス導入事業	4,536,525	2,268,262	1,134,000	1,134,263	
		小計			6,136,725	2,977,088	1,579,000	1,580,637	
	バス・乗合タクシー等活性化・再生に係る事業 計			25,716,725	11,650,263	1,662,000	12,404,462		
	合 計					124,171,356	60,793,078	13,530,000	49,848,278
内訳	鉄道関連				97,383,631	48,691,815	11,559,000	37,132,816	
	バス関連				26,787,725	12,101,263	1,971,000	12,715,462	

参考資料 4

第1表

平成21年度「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」予算

(歳入)				
款 項 目	本年度 (千円)	前年度 (千円)	比較 (千円)	説 明 (千円)
1 分担金及び負担金	0	0	0	
1 分担金	0	0	0	
1 分担金	0	0	0	
2 行政支出金	73,418	40,705	32,713	
1 行政支出金	73,418	40,705	32,713	
1 国庫補助金	57,818	30,470	27,348	地域公共交通活性化・再生総合事業費補助金
2 京都府補助金	15,600	10,235	5,365	京都府総合交通施策推進事業費補助金
3 市町補助金	0	0	0	
3 繰越金	1	0	1	
1 繰越金	1	0	1	前年度執行残額
1 繰越金	1	0	1	
4 諸収入	0	3	△ 3	
1 雑入	0	3	△ 3	
1 雑入	0	3	△ 3	寄附
計	73,419	40,708	32,711	

(歳出)				
款 項 目	本年度 (千円)	前年度 (千円)	比較 (千円)	説 明 (千円)
1 事業費	73,419	40,708	32,711	
1 計画調査費	0	10,000	△ 10,000	
1 計画調査費	0	10,000	△ 10,000	
2 改善事業費	73,419	30,708	42,711	
1 改善事業費	73,419	30,708	42,711	改善事業費総額 115,635
2 予備費	0	0	0	
1 予備費	0	0	0	
1 予備費	0	0	0	
計	73,419	40,708	32,711	

第1表

平成21年度「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」補正予算(第1号)

(歳入)		補正前の額 (千円)	補正額 (千円)	計 (千円)	説 明 (千円)
1 分担金及び負担金	1 分担金	0	0	0	
	1 分担金	0	0	0	
	1 分担金	0	0	0	
2 行政支出金	1 行政支出金	73,418	905	74,323	
	1 国庫補助金	73,418	905	74,323	地域公共交通活性化・再生総合事業費補助金
	2 京都府補助金	57,818	2,975	60,793	京都府総合交通施策推進事業費補助金
	3 市町補助金	15,600	△2,070	13,530	
	3 繰越金	0	0	0	
3 繰越金	1 繰越金	1	0	1	
	1 繰越金	1	0	1	前年度執行残額
4 諸収入	1 雑収入	0	0	0	
	1 雑収入	0	0	0	
	1 雑収入	0	0	0	
計	計	73,419	905	74,324	

(歳出)		補正前の額 (千円)	補正額 (千円)	計 (千円)	説 明 (千円)
1 事業費	1 計画調査費	73,419	905	74,324	
	1 計画調査費	0	0	0	
	1 計画調査費	0	0	0	
2 改善事業費	1 改善事業費	73,419	905	74,324	改善事業費総額
	1 改善事業費	73,419	905	74,324	124,171
2 予備費	1 予備費	0	0	0	
	1 予備費	0	0	0	
	1 予備費	0	0	0	
計	計	73,419	905	74,324	

「改善実行計画」の見直しに向けて

(骨子たたき台)

京都府丹後地域公共交通ネットワーク
改善実行計画の変更(提言) 概要版

平成21年9月15日

「実現会議」事務局

京都府丹後地域公共交通ネットワーク 改善実行計画の変更(提言) 概要版

平成 21 年 3 月 19 日

社団法人システム科学研究所

(監修:京都大学大学院工学研究科都市地域計画研究室)

1 計画見直しの背景

現在の「京都府丹後地域公共交通ネットワーク改善実行計画」(以下、「現計画」という。)においては、利用者の視点に立って、鉄道やバス等の「ダイヤ」、「運賃」、「駅・停留所」、「車両」、「情報提供」といった交通システムを構成する基礎的な部分に立ち返って改善を行なうことにより、全ての人々にとって、「分かりやすく」、「使いやすい」面的な公共交通ネットワークを実現することを目標としており、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町をエリアとして様々な改善を掲げている。

一方、丹後地域における基幹的公共交通である、北近畿タンゴ鉄道(以下、「KTRJ」という。)に関しては、地域との連携強化のもとで、最大限の効率化と利便性の向上を図ることにより、収益性を高めるとともに、経営改善につなげることを目指し、「北近畿タンゴ鉄道再生支援協議会」において、「北近畿タンゴ鉄道再生計画」(以下、「再生計画」という。)を策定し、国土交通省に提出したところである。

この再生計画においては、KTRJを中心としたダイヤの画期的改善及びそれに必要な施設整備等について記されているが、改善対象とするエリアがKTRJ沿線全線であり、現計画とも協調しながら検討していく必要がある。

2 調査の趣旨・目的

今後、更に利用者の目線に立った改善を図り、ネットワークを推進するため、既に現計画に記載されているKTRJやバスをはじめ、JR、船、あるいはタクシーなどの新たなモードを加えた複数のモードとの連携を含めた計画に再編するための調査・分析を実施するものである。

3 調査の内容

- (1) KTRJの現況分析・財務状況分析
 - ・特に、「特急車両運用の調査分析(利用需要、適正停車駅、収支貢献度)及び効果的な特急のあり方」について分析、検討
- (2) バス等複数モードでの面的ネットワークの現況分析
 - ・主要駅からのバス等の接続状況調査(福知山、大江、西舞鶴、宮津、天橋立、野田川、峰山、網野、久美浜、豊岡等)
- (3) サービス水準改善の検討・設備改善の調査分析
 - ・あるべき適正ダイヤ、路線の分析(KTRJ)
 - ・ダイヤ改善に必要な施設整備等(KTRJ)
- (4) 利用促進策・地域連携策の調査分析
 - ・「タンゴ悠遊号」等特別列車の乗降調査
 - ・駅からのバス等2次交通のアクセス分析
 - ・駅の潜在利用者調査(駅周辺公共施設、病院、商業施設等)の交通機関利用者調査・駅別、路線別に有効な利用促進調査
- (5) 京都府丹後地域公共交通ネットワーク改善実行計画変更の提言
 - ・調査内容をもとに、計画エリアや、ダイヤ、車両等の改善内容、運営スキームに関して、現行計画を見直し

- (6) その他関連調査
- (7) 報告書の作成

4 調査結果

再生計画の内容を現計画に反映させるための計画エリアの見直し及びダイヤ、車両等の改善内容、運営スキームに関する計画の見直しを行う必要があると考えられ、現計画の基本的な考え方が「失敗を恐れずに、まず、モデル的・実験的にできることから改善に取り組み」こと及びその実施に当たっては、PDCAサイクルにより常に計画を見直すこととしていることから、直ちに計画を見直すことを提言する。

「京都市丹後地域公共交通ネットワーク改善実行計画」変更(提言)の概要

1. 経緯

- 平成18年9月19日 丹後地域公共交通ネットワーク改善実行計画(以下「改善実行計画」という。)計画策定・公表
- 平成19年11月9日 改善実行計画を法定計画として提出することについて協議会にて承認
- 平成20年1月18日 法定計画「改善実行計画」送付
- 平成20年9月10日 法定計画「改善実行計画」変更
- 平成20年9月10日 法定計画「改善実行計画」変更計画公表

2. 改善実行計画の地域

- 福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、豊岡市 (下線付加の市を追加)

3. 改善実行計画に関する基本方針

(1) 基本認識

- 公共交通網は、住民自身の手で守り育てるべきもの
- 「分かりやすく」、「使いやすい」公共交通ネットワークの実現は、KTRやバスを、地元住民が安心して利用できる、乗りたい、残したいものにするが、同時に、それは、観光客にとっても利用したくなるものでなくてはならない
- また、「分かりやすい」、「使いやすい」公共交通ネットワークの実現は、地元を愛し、地元に誇りを持つるものにする取組でもある

(2) 改善実行計画の基本的な考え方

- 失敗を恐れずに、まず、モデル的・実験的にできることから改善に取り組む。
- 公共交通を事業者任せにせず、地元住民や行政も一緒になって自ら考え、皆で良くしていく。

4. 改善実行計画の目標

- 利用者の視点に立って、鉄道やバス等の「ダイヤ」、「運賃」、「駅・停留所」、「車両」、「情報提供」といった交通システムを構成する基礎的な部分に立ち返って改善を行なうことにより、すべての人にとって、「分かりやすく」、「使いやすい」面的な公共交通ネットワークを実現する。

5. 事業の概要及び事業の実施主体

- 別紙1(変更後)のとおり

6. 計画期間

- 速やかに改善に着手するもの 平成19年度～平成21年度(概ね3年間程度を目標)
- 中長期的に対応するもの 平成19年度～平成23年度(概ね5年間程度を目標)
- 将来的な課題 期限を設けないが、改善が必要

(改善を実効あるものとするため、節目ごとに改善の検証・新たな展開を図る)

※ 平成18年10月から当初計画(法定計画の前身)事業着手済み

別紙 1 (事業の概要及び事業の実施主体)

		改善内容	実施主体
速やかに改善	ダイヤ	バターンダイヤの導入 接続の取れたダイヤ設定 (KTR)	KTR、丹海バス
		天橋立駅における下り特急列車からのバス接続 (丹海バス)	丹海バス
		平日、土休日で需要に合わせた別ダイヤ設定 (平日の診察+α、休日の娯楽) (地元) 観光地・施設へのアクセス強化、観光コース設定(観光)	KTR、丹海バス
		交通障害地域でのゴミバス新規実証運行や利用実態に依じた予約型(予約バス)運行の導入	丹海バス、伊根町、与那川町
		丹海バス開入船線線やゴミバス実証運行等に200円均一区間設定	丹海バス、京丹後市、与那川町
		割引乗車券、企画乗車券等の充実 (新規企画商品販売)	丹海バス、京丹後市、与那川町
		実証運行に伴うバス停の新設やバス停の移設等 (施設直近、敷地内等への移設)	丹海バス、京丹後市、与那川町
		乗客の利便性向上、植栽、美化活動等	丹海バス、京丹後市、与那川町
		バス車両の中・小型化、ノンステップバス導入促進	丹海バス、関係市町
		車内写真展やシートカバー活用観光案内、ラッピングバス ゴミバス実証運行等に伴う車両購入	丹海バス、京丹後市、与那川町
平成19年度～平成21年度	情報提供	地図上路線図、乗換案内、起終点時刻等が一目で分かる表示	KTR、丹海バス
		ホーム上乗降位置表示、駅内の案内表示改善、駅舎内でのバス、観光船等の情報提供	KTR、丹海バス
		青芦案内充実、鉄道駅、バス止内、観光船内、渡船場における相互接続案内	KTR、丹海バス
		観光客・ビジネス客にポイントを絞った情報提供	KTR、丹海バス
		ホームページの充実、検索システム構築	KTR、丹海バス
		乗務員や駅員の丁寧な対応→研修充実	KTR、丹海バス
		利用者やユーザー向上のための啓発活動	KTR、丹海バス
		丹後の魅力発信 (修学旅行誘致、地元産品等PR、イベント連携 等)	KTR、丹海バス
		① NPO、住民等様々なユーザーとの連携展開による支援 (KTR)	地元、NPO等
		② 地元利用者の「普段利用の拡大」	地元、観光地
中期的に対応	運賃	鉄道・バス共通割引切符の創設、共通定期券販売	KTR、丹海バス、東日本旅客鉄道株式会社、関係市町
		観光地での100円バス運行	KTR、丹海バス、地元、関係市町
		地元高齢者・身障者等に対する割引促進のための補助制度創設	関係市町
		レンタカーとセットになった周遊券や「青春18きっぷ」の扱い拡大、通学者割引	JR西日本、KTR、カニ会社、KTR
		バス停の上屋整備、待合施設整備	丹海バス、地元、関係市町、KTR
		駅・ロープウェイの勾配改善、エレベーター、昇降機を設置検討、駅待合室の夜間開放、駐輪場の整備	関係市町、KTR
		パーク＆ライドの推進、駅周辺に駐車場を確保、レンタサイクル配備、直通回送システム導入の構築	関係市町、KTR、KTR
		全国的に地域の魅力発信できる県名への変更、愛称の命名	KTR、丹海バス、関係市町、利用者
		サイクルトレイン、サイクルバスの導入、ボックスマチからベンチシートへの変更	KTR、丹海バス、地元
		宿泊先から、船橋駅までの荷物移送サービス	JR西日本、KTR、地元
平成19年度～平成23年度	ダイヤ	午前の早い時間帯に丹後に着く特急の運行	JR西日本、KTR、地元
		① 鉄道線能の向上 (迅速化及びバターンダイヤ化)	KTR
		KTRに100円刻み運賃導入、同一区域内運賃均一化	KTR
		福知山経由、西舞鶴経由の運賃差の解消	JR西日本、KTR
		1Cカードの導入、乗車券購入時のクレジットカード対応化	KTR、JR西日本、関係市町
		グリーン車の停車位置を改札に近いところになるように編成替え	KTR、JR西日本
		駅舎でのエレベーター、エスカレーター設置	関係市町
		主要駅に集会施設、コンビニ、駐車施設、公共施設等併設	地元、運用企業、関係市町、KTR
		トロッコ列車や多目的車両の運行	地元、KTR、関係市町
		DNV (デュアル・モード・ビークル)、水陸両用車、高性能気動車等の導入研究	KTR、関係市町
携帯電話を利用した情報提供、バスロケーションシステム導入など	KTR、丹海バス、関係市町、運賃会社		
駅前駐車場整備、駐車車両回送システム構築	KTR、関係市町		

将来的な課題
(期限は示さないが、改善が必要と認識)

1. 地域公共交通総合連携計画の名称
京都府丹後地域公共交通ネットワーク改善実行計画

1. 地域公共交通総合連携計画の名称
京都府丹後地域公共交通ネットワーク改善実行計画

2. 京都府丹後地域公共交通活性化・再生総合事業計画の目的
①失敗を恐れずに、まず、モデル的・実験的にできることから改善に取り組む②公共交通を事業者任せにせず、地元住民や行政も一緒になって自ら考え、皆で良くしていく ことを基本的な考え方として、利用者本位の視点で、公共交通のあり方を見直し、すべての人にとって、分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワークを実現する。

2. 京都府丹後地域公共交通活性化・再生総合事業計画の目的
①失敗を恐れずに、まず、モデル的・実験的にできることから改善に取り組む②公共交通を事業者任せにせず、地元住民や行政も一緒になって自ら考え、皆で良くしていく ことを基本的な考え方として、利用者本位の視点で、公共交通のあり方を見直し、すべての人にとって、分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワークを実現する。

3. 総合事業計画の全体事業計画
(1) 全体事業計画の目標
(目標) 利用者の視点に立って、鉄道やバス等の「ダイヤ」、「運賃」、「駅・停留所」、「車両」、「情報提供」といった交通システムを構成する基礎的な部分に立ち返って改善を行なうことにより、すべての人にとって、「分かりやすく」、「使いやすい」面的な公共交通ネットワークを実現する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">挿 入</div> なお、計画は概ね以下のとおり進めることとする。 ・速やかに改善に着手するもの 平成19年度～平成21年度（概ね3年間程度を目標） ・中長期的に対応するもの 平成19年度～平成23年度（概ね5年間程度を目標） ・将来的な課題 期限を設けないが、改善が必要 （改善を実効あるものとするため、節目ごとに改善の検証・新たな展開を図る＜PDCAサイクルにより継続して改善＞）
(評価事項) ・公共交通が便利で使いやすいことを利用者が実感（住民の公共交通の利便性等に対する満足度の向上） ・マイレール、マイバス意識の醸成・高揚 ・鉄道、バスの利用者の減少を鈍化させ、将来的には横這いから増加に転じさせる （当面②KTR利用者数200万人確保、平成23年度205万人目標） ・観光入込客の増加 ・可能な限り維持に係る行政コストを抑制

3. 総合事業計画の全体事業計画
(1) 全体事業計画の目標
(目標) 利用者の視点に立って、鉄道やバス等の「ダイヤ」、「運賃」、「駅・停留所」、「車両」、「情報提供」といった交通システムを構成する基礎的な部分に立ち返って改善を行なうことにより、すべての人にとって、「分かりやすく」、「使いやすい」面的な公共交通ネットワークを実現する。これにより、関係地方公共団体においては、公共交通を核としたまちづくりを進めるとともに、地域全体の活性化に資する。 なお、計画は概ね以下のとおり進めることとする。 ・速やかに改善に着手するもの 平成19年度～平成21年度（概ね3年間程度を目標） ・中長期的に対応するもの 平成19年度～平成23年度（概ね5年間程度を目標） ・将来的な課題 期限を設けないが、改善が必要 （改善を実効あるものとするため、節目ごとに改善の検証・新たな展開を図る＜PDCAサイクルにより継続して改善＞）
(評価事項) ・公共交通が便利で使いやすいことを利用者が実感（住民の公共交通の利便性等に対する満足度の向上） ・マイレール、マイバス意識の醸成・高揚 ・鉄道、バスの利用者の減少を鈍化させ、将来的には横這いから増加に転じさせる （当面②KTR利用者数200万人確保、平成23年度205万人目標） ・観光入込客の増加 ・可能な限り維持に係る行政コストを抑制

(2) 全体事業計画の事業スケジュール
以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印(←→)、または横棒線(——)で記載。

事業の名称	平成20年度				平成21年度				平成22年度			
	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月
魅力ある車両創設事業(鉄道)	ラッピング ←→				変更				トロッコ列車運行 ←→			
	車両リニューアル ←→				車両ペインティング				車両ペインティング ←→			
	サイクルトレイン ←→											
企画列車運行	京丹後イベント列車 ↔				京丹後イベント列車 ↔				京丹後イベント列車 ↔			
	促進協イベント列車 ↔				与謝野町イベント列車 ↔				与謝野町イベント列車 ↔			
	宮福線開業20周年列車 ↔				KTR開業20周年列車 ↔				促進協イベント列車 ↔			
駅活性化事業	花いっぱい運動、清掃活動 ←→				花いっぱい運動、清掃活動 ←→				花いっぱい運動、清掃活動 ←→			
	ベンチ、手摺り修繕 ←→											
パーク&レール事業	駐車場借上げ支援 ←→				駐車場借上げ支援 ←→				駐車場借上げ支援 ←→			
	レンタサイクル整備 ←→				駐輪場整備 ←→				レンタサイクル整備 ←→			
イベント連携事業(鉄道)	宮福線20周年記念イベント・横断幕等 ←→				KTR20周年記念イベント・横断幕等 ←→							

(2) 全体事業計画の事業スケジュール
以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印(←→)、または横棒線(——)で記載。

事業の名称	平成20年度				平成21年度				平成22年度			
	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月
魅力ある車両創設事業(鉄道)	ラッピング ←→				①ラッピング ←→							
	車両リニューアル ←→				②展望列車 ←→				車両ペインティング ←→			
	サイクルトレイン ←→				③サウンドトレイン ←→							
					④車両リニューアル ←→							
企画列車運行	京丹後イベント列車 ↔				⑤福知山市イベント列車 ↔				京丹後イベント列車 ↔			
	促進協イベント列車 ↔				⑦⑧京丹後市イベント列車 ↔				与謝野町イベント列車 ↔			
	宮福線開業20周年列車 ↔				⑥促進協イベント列車 ↔				促進協イベント列車 ↔			
駅活性化事業	花いっぱい運動、清掃活動 ←→				⑨花いっぱい運動、清掃活動 ←→				花いっぱい運動、清掃活動 ←→			
	ベンチ、手摺り修繕 ←→				⑩駅待合施設整備 ←→							
パーク&レール事業	駐車場借上げ支援 ←→				⑪駐車場借上げ支援 ←→				駐車場借上げ支援 ←→			
	レンタサイクル整備 ←→				⑪駐車場整備 ←→				レンタサイクル整備 ←→			
					自動車利用者へのKTR活用提案事業 ←→							
イベント連携事業(鉄道)	宮福線20周年記念イベント・横断幕等 ←→											

情報提供（鉄道）	HP作成・公開 総合交通マップによるPR 運行状況のリアルタイムでの情報提供	HP作成・公開 総合交通マップによるPR	HP作成・公開 総合交通マップによるPR
利用啓発事業（鉄道）	「KTR乗る日」等PR 沿線景観修景調査事業 マナー向上&利用促進キャンペーン事業	「KTR乗る日」等PR 団体利用促進・啓発看板設置	「KTR乗る日」等PR
サービス向上に資する事業(鉄道)			
広報啓発事業（共通）	シンポジウム開催	シンポジウム開催	
情報提供（バス）	総合交通マップによるPR等	総合交通マップによるPR等	総合交通マップによるPR等
イベント連携事業（バス）	車内絵画展等	車内絵画展等	車内絵画展等
利用啓発事業（バス）	ポスター版時刻表掲出等	ポスター版時刻表掲出等	ポスター版時刻表掲出等
乗継改善事業	シンボルバス停整備 交通結節点機能強化	シンボルバス停整備	乗継案内版設置
実証運行	交通空白地への小型バス運行 交通空白地へのデマンド運行	観光促進路線実証運行	観光促進路線実証運行
魅力ある車両創設事業（バス）	地元高校生デザインラッピング（バス） 市営バス車両にバリアフリー車両導入	地元高校生デザインラッピング（バス）	地元高校生デザインラッピング（バス）

情報提供（鉄道）	HP作成・公開 総合交通マップによるPR 運行状況のリアルタイムでの情報提供	⑫HP作成・公開	HP作成・公開 総合交通マップによるPR
利用啓発事業（鉄道）	「KTR乗る日」等PR 沿線景観修景調査事業 マナー向上&利用促進キャンペーン事業	「KTR乗る日」等PR ⑬マナー向上&利用促進キャンペーン事業	「KTR乗る日」等PR
サービス向上に資する事業(鉄道)		⑭KTR沿線花植栽	
広報啓発事業（共通）	シンポジウム開催		
情報提供（バス）	総合交通マップによるPR等	⑮総合交通マップによるPR等	総合交通マップによるPR等
イベント連携事業（バス）	車内絵画展等		車内絵画展等
利用啓発事業（バス）	ポスター版時刻表掲出等	⑯ポスター版時刻表掲出等	ポスター版時刻表掲出等
乗継改善事業	シンボルバス停整備 交通結節点機能強化	⑰バス待合施設整備	乗継案内版設置
実証運行	交通空白地への小型バス運行 交通空白地へのデマンド運行	⑱⑲交通空白地への実証運行	観光促進路線実証運行
魅力ある車両創設事業（バス）	地元高校生デザインラッピング（バス） 市営バス車両にバリアフリー車両導入	⑳地元市民デザインラッピング（バス） ㉑市営バス車両にバリアフリー車両導入	地元高校生デザインラッピング（バス）

(3) 全体事業計画の事業費等			
事業の名称	変更 総事業費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
魅力ある車両創設 事業(鉄道)	33,600千円	16,800千円	16,800千円
企画列車運行	4,764千円	2,382千円	2,382千円
駅活性化事業	1,348千円	674千円	674千円
パーク&レール事 業	5,692千円	2,846千円	2,846千円
イベント連携事業 (鉄道)	5,297千円	2,648千円	2,649千円
情報提供(鉄道)	14,300千円	7,150千円	7,150千円
利用啓発事業(鉄 道)	9,366千円	4,683千円	4,683千円
サービス向上に資 する事業(鉄道)	—	—	—
広報啓発事業(共 通)	4,000千円	2,000千円	2,000千円
情報提供(バス)	1,204千円	480千円	724千円
イベント連携事業 (バス)	180千円	72千円	108千円
利用啓発事業(バ ス)	1,380千円	576千円	804千円
乗継改善事業	4,888千円	1,904千円	2,984千円
実証運行(バス)	27,569千円	13,784千円	13,785千円
魅力ある車両創設 事業(バス)	7,671千円	3,835千円	3,836千円
計	121,259千円	59,834千円	61,425千円

(3) 全体事業計画の事業費等			
事業の名称	総事業費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
魅力ある車両創設 事業(鉄道)	97,200千円	48,600千円	48,600千円
企画列車運行	3,327千円	1,663千円	1,664千円
駅活性化事業	11,248千円	5,624千円	5,624千円
パーク&レール事 業	15,380千円	7,690千円	7,690千円
イベント連携事業 (鉄道)	2,297千円	1,148千円	1,149千円
情報提供(鉄道)	14,025千円	7,012千円	7,013千円
利用啓発事業(鉄 道)	8,506千円	4,253千円	4,253千円
サービス向上に資 する事業(鉄道)	10,000千円	5,000千円	5,000千円
広報啓発事業(共 通)	—	—	—
情報提供(バス)	1,245千円	500千円	745千円
イベント連携事業 (バス)	120千円	42千円	78千円
利用啓発事業(バ ス)	1,516千円	643千円	873千円
乗継改善事業	5,088千円	2,004千円	3,084千円
実証運行(バス)	45,346千円	22,672千円	22,674千円
魅力ある車両創設 事業(バス)	12,229千円	6,114千円	6,115千円
計	227,527千円	112,965千円	114,562千円

平成21年度 建設交通部の運営目標 (京都府ホームページから抜粋)

中期ビジョン	活力の京都
重点目標8	交流型ネットワークの整備を図ります。
事項 1	京都縦貫自動車道、JR山陰本線の複線化などの骨格的な交通網を整備します。
運営目標	<p>○ 骨格的な道路網の整備を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 京都縦貫自動車道整備促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都第二外環状道路：大山崎一大枝間用地取得概ね完了・工事促進支援（H24年度完成目標） ・ 丹波綾部道路：丹波一京丹波わち間用地取得支援・工事促進支援（H26年度完成目標） ・ 府道路公社管理区間（京丹波わち一宮津天橋立間）における料金割引拡充の早期実現 ◆ 新名神高速道路整備促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 城陽一八幡間：地元設計協議の完了及び用地取得着手（H28年度完成目標） ・ 大津一城陽間、八幡一高槻間：早期着工に向け、関西が一丸となった要望活動等の取組を強化 ◆ 鳥取豊岡宮津自動車道整備推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 宮津一野田川間：事業促進、トンネル防災設備工事（事業進捗率約95%）（H22年度完成目標） ・ 野田川一大宮間：用地取得推進、工事用道路着手（H20年代半ば完成目標） <p style="text-align: center;">併せて、国において実施される幹線道路網調査の中で直轄整備に向けて調整</p> <p>○ 幹線となる鉄道網の整備を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ JR山陰本線京都・園部間複線化（H22春開業目標） <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市域：高架橋工事、軌道敷設工事等促進 亀岡・南丹市域：盛土工事、橋梁工事、軌道敷設工事等促進 ・ 複線化の事業効果が最大限発揮されるダイヤ編成となるよう、JR西日本に要請 ◆ JR奈良線の複線化に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ JR奈良線の複線化に向け関係市町と連携してJR西日本に要請 ・ 利用促進に向け、関係市町等と連携した交通需要マネジメントの実施及び市町支援 <p>○ 交通結節点機能高度化を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 府域全体の公共交通網の活性化を図るため、新たに開通する京都第二外環状道路ICと阪急新駅とで形成される交通結節点の整備支援及び都市交通システム整備事業やまちづくり交付金事業の促進

事 項 4	北近畿タンゴ鉄道の安心・安全な運行と「使いやすい」公共交通ネットワークの実現を図ります。
運 営 目 標	<ul style="list-style-type: none">○ 北近畿タンゴ鉄道（KTR）の安心・安全な運行を確保します。<ul style="list-style-type: none">◆安全性向上に係る施設整備を支援（信号保安設備等）◆責任事故ゼロ（平成8年から13年連続）の継続 ○ KTRの利便性の向上と利用者サービスを拡充し、利用者増を目指します。<ul style="list-style-type: none">◆前年度に引き続き、年間利用者数210万人超を確保◆KTRを支える沿線市町と連携してサポーターズクラブ会員1万人の達成に向けて、サポーターズ会員、トレインオーナーなど年間5,000人獲得。企画列車運行や花いっぱい運動などの利用促進事業を実施◆地域活力基盤創造交付金を活用したKTRへの支援 ○ 利用者の視点に立った公共交通ネットワークを構築します。<ul style="list-style-type: none">◆「丹後地域公共交通ネットワーク改善実行計画」をローリング・リニューアルし、関係市町等との協働により継続推進<ul style="list-style-type: none">・バス待合施設の整備、駅や公共施設での情報提供を充実・KTRと路線バスの競合区間のあり方を「実現会議」で検討◆府内他地域での丹後と同様の取組促進に向けた市町村への情報提供等の支援

平成21年度 丹後広域振興局 運営目標

中期ビジョン	行政経営
事項 1	管内市町、府民との連携強化による行政経営の推進
平成21年度 運営目標	<p>○3年目を迎える地域力再生プロジェクト支援事業について、60件以上（平成20年度55件）の地域団体を支援するとともに、これまでの交付団体（81団体）に対し、意見や情報交換の場を提供することで、団体単独の活動から団体相互の協働活動やネットワーク構築につなげます。 また、これまでの支援団体での効果を検証・分析することで、団体のニーズ等を把握し、交付団体へのアドバイス等の支援を行います。</p> <p>○局の活動について、振興局ホームページ、「たんご活動プランニュース」（年2回、全戸配布）、府民だより地域版（年4回、全戸配布）の定期的発行、市町広報誌の活用、更に、今年度新たに開局するFMたんごにより、より多くの府民に活動情報を提供します。</p> <p>○管内1,000人以上の府民との意見交換を行い、現地現場でのニーズを把握し、府民満足の最大化を目指して、よりの確な行政経営を進めます。 また、府民交流会を開催し、その意見を踏まえて、丹後活動プラン（丹後地域振興計画）の見直しに着手します。</p> <p>○「府民公募型安心・安全整備事業」については、通学路や信号機等の整備をはじめとして、より多くの提案をもらうため、管内の小中高等学校（79校）、社会福祉施設（約80施設）に制度の周知を行うほか、各種のイベント等においてPRを行います。【新規】</p>

地域振興計画	観光振興と交流・定住の促進
事項 1	多様な資源を活用した新たな観光・交流・定住施策の展開
平成21年度 運営目標	<p>○観光入込客目標600万人を目指します。 (1)丹後広域観光キャンペーン協議会と連携した「私のふるさと丹後」を目指した、新たな観光戦略事業を積極的に展開【積極的な丹後特産品や観光資源PRの展開】</p> <p>①大都市圏（東京、大阪）における「丹後PRフェア」の開催 大手旅行会社、マスコミ等を対象に観光資源、丹後特産品（海産物、特A「丹後コシヒカリ」、京野菜、丹後ちりめんなど）の丹後PRフェアを開催（東京、大阪各1回）</p> <p>②テレビ、雑誌等による観光PR（テレビ、雑誌等50回）</p> <p>③公共交通機関と連携し、旬のイベント情報等の観光情報紙等の発行（年6回、各5万部）【新規】</p> <p>【様々なイベント等による観光等の推進】</p> <p>④自然公園ふれあい全国大会で、丹後の魅力を全国に発信するとともに、エコツアー5コースを実施【新規】</p> <p>⑤山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟に向けて、まず、日本国内からの候補地選定を目指して、専門家によるネットワークの構築、ジオパークフォーラムの開催、ジオツアールート（3コース）の設定を行います。【新規】</p> <p>【企画商品や新たな観光ルートの開発】</p> <p>⑥北近畿タンゴ鉄道やバス、船など公共交通機関と宿泊施設が連携した企画商品の開発（5種類）【新規】</p> <p>【丹後の魅力を的確に伝える人材育成】</p> <p>⑦丹後ふるさと検定の実施（受検者150人以上）</p> <p>⑧観光客への「おもてなし（接客）」の意識及び技術を高める講習会、丹後観光口コミ大使講習会等の開催（10回）【新規】</p>

地域振興計画	生活・交通等基盤整備の推進
事項 1	地域での生活や活動を支える条件整備と域内外の交流を活発にする基盤の整備
平成21年度 運営目標	<p>○鳥取豊岡宮津自動車道の整備推進（宮津野田川道路、平成22年度完成目標）</p> <p>○丹後地域の骨格となる幹線道路の通年2車線確保を目指し、重点的な整備 （主要事業） 国道482号丹後弥栄道路：用地買収促進、築造工事着手 国道312号橋爪道路：用地買収・築造工事 鳥取豊岡宮津自動車道（野田川大宮道路）事業推進に向け支援 （新規事業着手） 国道178号上野平バイパス：新規着手、詳細設計 （供用開始箇所） 国道178号養老伊根バイパス、府中バイパス：平成21年度の完成供用開始を図る。 岩滝海岸線：平成21年度の完成を図る。</p> <p>○歩行者等の安心・安全を確保する道路整備 （主要事業） 国道178号（宮津市里波見）：用地買収：（与謝野町岩滝交差点部分）：築造工事 国道312号（京丹後市久美浜町永留～橋爪）：用地買収、築造工事 （完成予定箇所） 国道178号交通安全施設（宮津市鶴賀～漁師）：今年度バリアフリー化完成</p> <p>○地域の生活を支える道路の効果的な整備 （平成21年度整備路線 13路線予定）</p> <p>○公共用地取得プロジェクトチームの活用による計画的かつ円滑に事業の実施 ・管内の各事業の事業進捗を図るため、用地取得事務の迅速かつ適正な実施に努め、地元関係者に十分説明し理解を得ながら、公共用地取得プロジェクトチームの活用により、計画的かつ円滑に事業を実施</p> <p>○公共事業を、府民協働事業として積極的に推進します。 ・「ワークショップ」や検討委員会等の実施により府民協働を積極的に取り組み、地域づくり・まちづくり・ひとづくりにつながる公共事業の整備及び取組の推進を図ります。（目標数 府民協働 10,000人） ・ボランティア活動の推進及び将来に向けた参加拡大 ボランティア活動事業：さわやかボランティアロード・たんご 地域に愛される川づくり・天橋立まもり隊（新規目標数 5団体）</p> <p>○京丹後市大宮町森本地区において、高規格道路及び府道計画と調整を図りつつ、ほ場整備工事（18.7ha）を実施します。また、府営広域宮農団地震道整備事業（丹後地区）の年内完成を目指します。</p> <p>○北近畿タンゴ鉄道（KTR）について市町・KTR利用促進協議会等の関係機関が連携した利用者増対策により、年間総輸送人員210万人を目指します。 ①府や市町職員による利用（ノーマイカーデー設定、出張利用など）を拡大 ②駅周辺の清掃や花いっぱい運動など、魅力ある駅づくり ③丹後広域観光キャンペーン協議会等の関係機関と連携した取組による地域外からの誘客推進 ④サポーターズクラブ会員1万人達成に向けて、平成21年度のサポーターズクラブ会員、トレインオーナーなど年間5,000人達成を目指します。</p> <p>○丹後NPOパートナーシップセンターを拠点に、NPOの組織運営力向上のためのイベントを開催 NPOや地域活動団体の育成・交流・連携を促進するとともに、活動団体が主体的に事業展開できる機会を提供します。</p>

平成21年度中丹広域振興局運営目標

地域振興計画	京都舞鶴港を活かした地域づくり
事項 1	京都舞鶴港における和田ふ頭（仮称）の整備と貿易振興
平成21年度運営目標	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な事業執行管理等により、平成22年春に新ふ頭（上屋、荷役機械等を含む）と臨港道路の供用を開始します。 ○港運事業者等との協議を進め、新ふ頭の適切な運営開始を図ります。 ○港湾振興につながる効率的で利用しやすい港湾運営や、土地利用の実現に向け、港湾管理条例、分区条例の見直しを行います。 ○「トライアル利用促進補助金」の活用により、戦略的な集荷活動を展開します。 <ul style="list-style-type: none"> ・集荷活動及び港湾関連用地等への企業誘致と併せて、延べ1,000社訪問 ・コンテナ貨物取扱量 10,000TEU ・外資と内資を合わせて1,000万トン ○中国航路、韓国航路を維持するとともに、さらに航路拡充のために協議を進めます。 ○新ふ頭含め港湾関連用地への物流・配送拠点など、貿易関連企業の誘致を進めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・誘致件数3件

地域振興計画	地域の特性を活かした産業の振興
事項 1	緊急経済・雇用対策の推進【新規】
平成21年度運営目標	<ul style="list-style-type: none"> ○中丹地域緊急経済・雇用対策連絡会議によりハローワーク、市等との連携のもと、地域の実情に応じた経済・雇用対策を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・京都を支える5万人雇用・人づくり事業による雇用創出 実人数1,200人 ・雇用維持に向け、商工会議所等と連携して事業者に対する経営、雇用等に係る支援施策を普及 ○公共事業について、過去最大水準の前倒しによる早期発注を目指します。 ○京都ジョブパーク北部サテライトにより府北部に在住する若年求職者等を対象に、ハローワーク等と連携しながら 情報提供から相談、就職、職場定着までワンストップで就業支援を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・若年者等の就業支援による就職内定者数 200名 ・北部サテライトによる常設の支援…若年者、U・Iターン、母子家庭等 ・急激に悪化している経済・雇用情勢に迅速・的確に対応するため、地域ジョブパーク事業により総合的な就業・生活支援を実施 大量離職発生時にはハローワーク等関係機関との連携のもと、現地にて緊急生活・就労支援相談会を開催
事項 2	ものづくり等の活性化と新規産業の創出
平成21年度運営目標	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度策定した「中丹地域の産業振興に向けた行動指針」に基づき、市、商工会議所等と連携し、地域の特性・強みを活かした産業活性化を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> ・企業立地の促進 <ul style="list-style-type: none"> 新規立地企業数 5件 工業団地への企業立地における課題解決に向けた市と連携した取組推進 ・中小企業緊急サポートチームにより、企業ニーズを的確に把握し、企業の事業活動を総合的に支援するとともに創業や経営革新を促進 <ul style="list-style-type: none"> 企業訪問件数 140件 経営革新計画承認、元気印中小企業認定、元気な地域づくり応援ファンド支援等国や府の支援制度適用件数 15件

事項 6	森林整備（間伐）の推進と間伐材の利用拡大
平成21年度 運営目標	<p>○施業の効率化と施業地の団地集約化を進め着実に間伐を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間伐実施面積 <u>1,300ha</u> ・間伐材利用量 <u>6,500m³</u> ・間伐団地の設定（新規） <u>8ヶ所</u> ・森林組合等職員研修会等 <u>4回</u> <p>○緑の工務店の拡大と連携により間伐材等府内産木材の利用拡大に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑の工務店の登録（新規） <u>5事業体</u> ・府内産材による住宅建築 <u>30棟（450m³）</u>
事項 7	野生動物被害対策による営農意欲の確保
平成21年度 運営目標	<p>○中丹地域野生鳥獣対策実行計画（平成21年度版）に基づき、農林業被害額を平成19年度被害額（118百万円）以下に軽減します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・捕獲の推進 <ul style="list-style-type: none"> 狩猟免許試験事前講習会を丹後振興局と連携して開催 新規狩猟免許取得 <u>20件</u> 広域捕獲の実施 <u>（春季、秋季）</u> 捕獲目標（有害駆除、狩猟捕獲） <u>ホシカ2,400頭、1/ツ 2,200頭、</u> 鳥獣被害防止特措法に基づく鳥獣被害対策実施隊の設置 <u>1市</u> 捕獲獣の有効活用 <u>市や地元団体、関係業界と連携し、獣肉を使った新たなメニューの開発等の有効活用を行う。</u> ・防除の推進 <ul style="list-style-type: none"> 野生鳥獣被害に強い集落づくりの支援 講演会、現地研修会等の開催、協力 <u>10回</u> 防護柵の新設 <u>70km</u> ・生息地管理 <ul style="list-style-type: none"> 緩衝地帯（バッファゾーン）に和牛を放牧 継続：レンタカウ <u>3地区</u> 新規：サポートカウ（農家保有牛） <u>1地区</u> ・産・公・地域連携による野生鳥獣被害対策（サル）モデル地区の効果検証 サル出没警報装置 <u>2地区</u>
事項 8	地域資源を活かした観光の振興
平成21年度 運営目標	<p>○丹後広域観光キャンペーン協議会や市と連携し、中丹地域が一体となった観光振興を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中丹地域の観光入込客数300万人を目標とし、平成21年は290万人を目指す ・観光関連団体や市と連携した中丹地域の魅力発信 <ul style="list-style-type: none"> スポーツイベント、農林水産体験イベント、花の見どころなど管内の観光資源を調査。総合的な観光マップやパンフレットを作成して、旅行会社へのPRや道の駅への配架、ホームページにより情報を発信 JR、KTRと連携したハイキングイベントの開催 <u>22回</u> ・「自然公園ふれあい全国大会」に合わせた「エコツーリズム」の取組推進 <ul style="list-style-type: none"> ハイキングコースや見どころを紹介するマップ作成 ・新たな誘客資源の創造として、スポーツと食事・宿泊・観光を組み合わせた情報発信を促進し、「スポーツ&観光」地づくりを推進 <ul style="list-style-type: none"> マラソン、カメラ、サイクリング、ベタンク、グランドゴルフ、テニス、野球、卓球等のスポーツ振興、合宿等の参加者増加、誘致のためのパンフレットを作成し、旅行会社訪問等によるPR活動を推進 ・京都舞鶴港への客船「飛鳥II」の寄港に合わせたツアー企画、歓迎行事等の実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・丹後広域観光キャンペーン協議会と連携した誘客促進 京都舞鶴港発フェリーによる若狭湾クルーズの実施 丹後地域を訪問する団体旅行に係るバス運行支援 若狭地域との共同観光マップ作成 高速道路事業者と連携した情報発信等 <p>○丹後天橋立大江山国定公園において、平成21年9月に実施される自然公園ふれあい全国大会に向けた整備を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登山道等における標識（案内標識及び誘導標識等）の整備（15箇所）等 ・鬼嶽稻荷神社（おにだけいなりじんじゃ）園地（トイレ）等
--	---

地域振興計画	地域の振興を支える交流基盤づくり
事項 1	地域の振興を支える交流基盤づくり
平成21年度 運営目標	<p>○地域内外の交通基盤の計画的な整備を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線系道路の整備 <ul style="list-style-type: none"> 国道175号【舞鶴市・大川橋】（平成21年度の完成 L=1200m） 国道175号【福知山市・宮川橋】（平成22年度の完成を目指し、橋脚2基完成、上部工に着手） 国道177号【舞鶴市・大手交差点】（平成21年度の完成、和田心頭（仮称）関連） ・地域振興を支える交通網整備 <ul style="list-style-type: none"> 西坂蓼原線【福知山市・統合橋】（府：尾藤橋 市：波美橋）（平成23年度の完成を目指し、橋台2基及び橋脚3基完成、橋脚1基及び上部工に着手） 舞鶴和知線【綾部市五津合町】（築造工事300m区間を実施） ・市街地における道路整備 <ul style="list-style-type: none"> 小倉西舞鶴線【舞鶴市溝尻～大宮橋】（用地買収の推進、大宮橋の上下部工事着手） 福知山綾部線【綾部市大島～高津町】（平成21年度の完成） 福知山綾部線【福知山市土師】（早期完成を目指し、自転車道整備に着手） ・地域生活を支援する道路整備 <ul style="list-style-type: none"> 福知山山南線【福知山市十三丘～大門】（平成21年度の全線完成を目指し、L=440mを完成） 淵垣上八田線【綾部市・淵垣交差点】（平成21年度の完成） <p>○都市基盤の整備等を計画的に進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福知山駅のKTR高架化完成（平成21年2月）に伴い南北市街地の一体化と交通円滑化を図る（平成21年度中の事業の完了を目指して、新設2箇所を含む6箇所の交差道路の完成） <p>○府民公募型安心・安全整備事業の利用促進を図ります。【府民満足最大化プラン：維持管理における地域協働の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管内小・中・高校や社会福祉施設等に対し、制度の周知を図るほか、各種イベント、会議等を活用し積極的なPRに努めることにより、利用促進を図り、安心・安全な地域づくりを進める。

「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議（丹後地域）」規約 新旧対照表

23

現 行 規 約	改 正 案
<p>「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議（丹後地域）」規約</p> <p>（設置）</p> <p>第1条 京都府丹後地域においては、北近畿タンゴ鉄道や、路線バス等により公共交通網が形成されているが、これら公共交通ネットワーク全体を、利用者にとって最適なものに改善していくため、「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議（丹後地域）」（以下「実現会議」という。）を置く。</p> <p>（所掌事項）</p> <p>第2条 実現会議は、次の事項について協議、調整及び実施等を行う。</p> <p>(1) 利用者にとって、より便利で使いやすい公共交通ネットワークを構築するための諸課題を改善するための計画（以下「改善実行計画」という。）の作成</p> <p>(2) 改善実行計画の実施</p> <p>(3) 改善実行計画の取組実績の把握</p> <p>(4) 改善実行計画の継続的な見直し</p> <p>(5) その他、より便利な公共交通ネットワークの実現に向けた取組全般に関すること</p> <p>（改善の実行）</p> <p>第3条 改善実行計画の実施に当たっては、実現会議及びその委員</p>	<p>「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」規約</p> <p>（設置）</p> <p>第1条 京都府中北部地域及び兵庫県北部地域においては、北近畿タンゴ鉄道や、路線バス等により公共交通網が形成されているが、これら公共交通ネットワーク全体を、利用者にとって最適なものに改善していくため、「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」（以下「実現会議」という。）を置く。</p> <p>（略）</p>

参
考
資
料
7

現 行 規 約

改 正 案

並びに委員の所属団体をはじめ、改善実行計画の「実施主体」欄に記載の者が、それぞれの立場で、主体的に取り組むものとし、PDCAサイクルに則り改善を継続的に行うよう努めるものとする。

2 委員は、地元住民、地元企業、その他公共交通ネットワークを便利にしようという思いのある者に、改善の取組を働きかけるものとする。

(情報の公開)

第4条 前2条に係る協議内容及び改善の取組状況等については、広く府民等に情報を提供し、意見を聞くものとする。

(組織)

第5条 実現会議は別表1に掲げる委員により構成する。

2 実現会議に、実現会議を補佐し、実務的な作業を行うワーキンググループを置き、別表2に掲げる者により構成する。

(座長)

第6条 実現会議に座長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 座長は実現会議の会務を総理する。

3 座長に事故のあるときは、座長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

4 座長は、必要に応じて専門部会を置くことができる。

5 前項に定める専門部会の構成員は、座長が別に定める。

(会議)

現行規約

第7条 会議は座長が招集する。

2 座長は、必要に応じて委員以外の者の出席を求めることができる。

(事務局)

第8条 第2条に規定する実現会議の所掌事項を円滑に行うため、実現会議に事務局を置く。

2 実現会議の事務局は、京都府商工労働観光部観光課、建設交通部交通対策課、京都府丹後広域振興局企画総務部企画振興室及び京都府丹後広域振興局農林商工部商工労働観光室により構成する。

3 事務局長は、京都府建設交通部交通対策課長をもって当てる。

(その他)

第9条 この実現会議は、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」(平成19年法律第59号)(以下「法」という。)第5条第6項に規定する協議会の性格を有するものとし、継続的に見直される改善実行計画は、法第5条第1項に定める「地域公共交通総合連携計画」(以下、「総合連携計画」という。)に位置づけることができるものとする。

2 第2条に規定する所掌事項の執行に当たって、総合連携計画のうち、「地域公共交通活性化・再生総合事業」として、国から認定を受けた事業について、国庫補助事業及び京都府の補助事業である「総合交通施策推進事業」を活用する場合、関係する事務は実現会議が行うものとする。

改正案

(事務局)

第8条

2 実現会議の事務局は、京都府商工労働観光部観光課、建設交通部交通政策課、京都府中丹広域振興局企画総務部企画振興室、京都府中丹広域振興局農林商工部商工労働観光室、京都府丹後広域振興局企画総務部企画振興室及び京都府丹後広域振興局農林商工部商工労働観光室により構成する。

3 事務局長は、京都府建設交通部交通政策課長をもって当てる。

(略)

現 行 規 約

第10条 この規約に定めるもののほか、必要な事項については、座長が別に定める。

2 前条第2項について、適正な執行を確保するため、「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議（丹後地域）」事務処理規程、「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議（丹後地域）」財務規程、「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議（丹後地域）」文書取扱規程、「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議（丹後地域）」公印取扱規程及び「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議（丹後地域）」監査実施規程を別に定める。

附 則

この規約は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成17年11月30日から施行する。

附 則

この規約は、平成19年5月18日から施行する。ただし、第9条の規定は、法の施行の日から適用する。

附 則

改 正 案

第10条

2 前条第2項について、適正な執行を確保するため、「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」事務処理規程、「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」財務規程、「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」文書取扱規程、「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」公印取扱規程及び「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」監査実施規程を別に定める。

附 則

この規約は、平成21年4月1日から施行する。

現 行 規 約

改 正 案

この規約は、平成19年11月9日から施行する。

別表1

「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議（丹後地域）」委員

地元利用者代表

地元経済界代表

地元商工・観光団体代表

有識者等

交通事業者の代表者等

旅行会社の代表者等

関係地方公共団体の長等

公安委員会

道路管理者

【オブザーバー】

国土交通省近畿運輸局京都運輸支局長

西日本旅客鉄道株式会社福知山支社長

別表2

「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議（丹後地域）」ワーキンググループ

交通事業者の実務担当者

関係地方公共団体の実務担当者

別表1

「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」委員